

鳴滝通信

～夢や希望をもって自ら学ぶ鳴滝生～

令和3年3月23日
京都市立鳴滝総合支援学校
校長 玉梶 香織

令和2年度の授業が明日で終わり、明後日からは春休みに入ります。明日は各担任から児童生徒の皆さんにキャリアプラン（通知票）が手渡され、頑張ったところや来年度に向けての目標などが伝えられます。

1年間の成長を振り返る大切な時期です。渡されたキャリアプランをしっかりと読み、「できたこと、成長したこと、さらに頑張りたいことや次への目標」など、自身でしっかり見直しておきましょう。

保護者の皆様、令和2年度の学校運営にご理解・ご協力いただきありがとうございました。今後も、子どもたちが安心・安全に笑顔で学校生活が送れるよう、教職員一同 誠心誠意 取り組んでいきます。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

学校長ごあいさつ

この1年のスタートは、これまでに誰も経験したことのないような幕開けとなりました。毎日のように送られてくる膨大な新型コロナウイルス感染症の情報を前にしながら、初めて尽くしの対応に追われ、変更や修正を繰り返した1年でもありました。

子ども達にとっても初めてのことであった、マスク着用、検温、登校後の手洗い、ソーシャルディスタンス、消毒、黙食などの感染症対策は、今では見事に定着しています。そして、時差登校をはじめ、日々の学習活動や学校行事等もこれまでとは違う方法で取り組みましたが、その流れに柔軟に対応し、いつものように笑顔で挨拶してくれます。

このような不安定な状況の中で、卒業後の進路がどうなるのかと一番心配していたのが卒業した3年生だったようです。卒業証書授与式の少し前に行われた「採用内定通知書わたしの会」で、多くの3年生が「コロナで不安だったけれど、進路の先生方や3年生の先生方に頼るのではなく、自分たちが頑張らないといけない、と思っていた。」と表明してくれました。コロナ禍でも子ども達は確実に成長している、と強く感じた瞬間でした。

保護者の皆さま、令和2年度の学校運営にご理解・ご協力をいただきありがとうございました。今年度、無事修了できますのは、保護者の皆さまが日々子ども達の生活を見守っていただいているおかげであると感謝しています。来年度も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

校長 玉梶 香織



第44回 高等部卒業証書授与式

3月5日（金）第44回 卒業証書授与式が挙行され、生活産業科20名の生徒に卒業証書が授与されました。式後は、卒業生から手話による「卒業の歌」の披露があり、今までの感謝の気持ち、これからの生活に向けての「夢や希望」を胸に、「旅立ちの日に」を一生懸命 手話で歌いました。

鳴滝総合支援学校の卒業生として、社会に出て、いつもの笑顔と持ち前の誠実でひたむきな姿勢を忘れず、頑張ってください。



令和2年度 離任する教職員につきましては、3月24日（水）午後3時以降に学校ホームページにてお知らせいたします。なお、離任式は3月30日（火）午前10時より行います。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、卒業生の参加につきましては令和2年度（今年度）卒業の方のみとさせていただきます。詳細は、24日（水）のホームページ上にてご案内いたします。